



## 豆乳食育移動教室における「豆乳の摂取状況」に関するアンケート分析結果

2013年より開始し、本年度で11年目を迎えた「豆乳食育移動教室」は、日頃から栄養や食物、調理に関心の高い生徒を対象に、豆乳に関する啓発活動を行い、豆乳の特長や優位性等を訴求するために実施しています。すでに、全国45の学校において、13,00名を超える生徒への講義を行いました。講義後、4種類の豆乳を試飲した高校生アンケートを実施、下記はその集計・分析結果です。

### ■ 豆乳食育移動教室のアンケートの実施概要

#### 1. アンケート調査目的

講義を受講した高校生における豆乳に対する理解度を把握するとともに、普段の豆乳摂取頻度、家庭内における豆乳購入状況、今後の購入・摂取意向等を検証し、今後の、日本豆乳協会およびそのメンバー企業におけるマーケティング・広報戦略の活動に資することを目的に実施。

#### 2. アンケート調査方法

豆乳のサンプリング後、アンケート票配布による調査

#### 3. アンケート調査実施日

2015年～2023年の9年間

#### 4. アンケート調査対象者

全国の豆乳食育移動教室実施校(38校、有効回答数：1260サンプル)

#### 5. 主な質問項目

- ① 豆乳食育移動教室への評価
- ② 豆乳の試飲に関する感想
- ③ 日頃の豆乳の摂取頻度 等

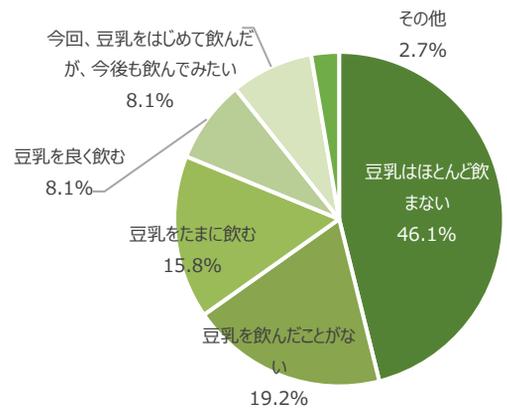
### ■ 豆乳食育移動教室のアンケート結果のサマリー

- 調理や栄養を専門的に学ぶ高校生約35%は、日頃から、豆乳を摂取している。
- 講義については、有意義にとらえており、「豆乳で料理」、「豆乳の種類」等の説明についての評価は高い。
- これまで、豆乳の摂取頻度が低くても、講義を通し、豆乳の知識を得たことで、今後の愛飲意欲は明らかに高まっている。

# ■ 豆乳食育移動教室のアンケートの集計分析結果

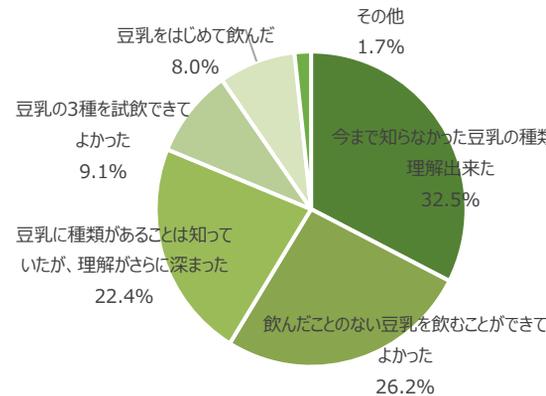
## 約24%の生徒が、豆乳を飲んでいる

- 豆乳の摂取頻度は、「豆乳をよく飲む (8.1%)」、「豆乳をたまに飲む (15.8%)」と答えた生徒は、全体の23.9%。
- 「豆乳を初めて飲んだが今後も飲んでみたい (8.1%)」という生徒を含め、豆乳の摂取に好意的な生徒は、約3割を占めている。
- 一方で、「豆乳をほとんど飲まない (46%)」、「飲んだことがない (19%)」という層は多い。



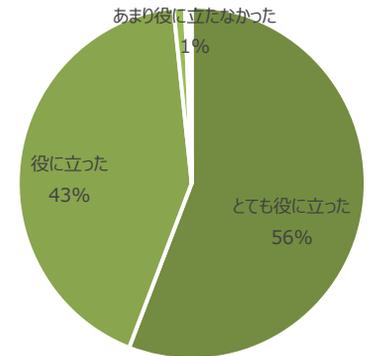
## 講義に対する評価は総じて高い

- 授業を通して、「今まで知らなかった豆乳の種類を理解できた (32.5%)」生徒が最も多く、「飲んだことのない豆乳を飲むことができよかった (26.2%)」、「豆乳の種類があることは知っていたが、理解がさらに深まった (22.4%)」という声も多く聞かれ、豆乳の対する理解が深まっている。
- この傾向は、本活動を開始した9年前から、変わらない。



## 授業に対する評価は、総じて高く、「豆乳で料理」、「豆乳の種類」に対して知識を養っている

- 講義に対しては、ほとんどが「とても役に立った (56%)」、「役に立った (43%)」と回答しており、高校生にとって有意義であった様子がかがえた。この評価は、取り組みを開始して以来、10年以上にわたり、変わっておらず、高評価が続いている。



## 「豆乳を使った料理」や「豆乳の種類」について、興味のある生徒が多い

- 授業の内容については、調理や栄養を学んでいる高校生を対象にしていることもあり「豆乳で料理」や「豆乳の種類」に対する興味・関心が高い。

## 調理や栄養を学ぶ高校生に対し、豆乳の特徴や有効成分を訴求することができ、生徒の理解を促進

### <代表的なコメントの一例>

- 大豆には植物性たんぱく質が含まれていてコレステロールもないので、飲みたいと思う。
- 小学生の時に飲んで以来、苦手でしたが、美味しかった。
- 栄養素が高く、料理やデザートに活用できてとても良い飲み物だと思った。
- 豆乳嫌いの自分に豆乳を飲んでみようと思わせてくれるような講義だった。
- できるだけ豆乳を飲み、健康な体作りを目指したい。
- たくさんの豆乳メーカーがあることを初めて知りました。
- 生活習慣病の予防など、体にとても良いものだを知ったので、できるだけ豆乳を摂りたい。
- 豆乳を飲むことにより、たんぱく質や鉄分、ビタミンB6が取れるので健康に良く、役割がたくさんなので、すごくよいと思った。
- これからの日常生活で豆乳を使って料理をしたり、飲んだりしていきたい。

